



発行日：平成27年10月1日
 発行者：市原市更級5丁目1-51
 市原市立中央図書館
 よくよむ
 TEL 0436 (23) 4946
 http://www.library.ichihara.chiba.jp

図書館iらんど 2015
 ▶▶この本が未来を開く1冊に!

イベントカレンダー
 10月17日(土)~11月8日(日)
 17 **歴史講座**
 「国分寺台の遺跡調査と上総国府推定地」
 講師 浅利 幸一氏
 午後2時から

日	月	火	水	木	金	土
18 子どもと読書講座 講師 坂口 美佳子氏 科学遊びにチャレンジ! ①午前10時から 羊のおくりもの ②午後1時30分から ゴムの実験	19 休館日	20 本の修理とカバー貼りお見せします! 1階玄関ホールにて ①午前10時から ②午後2時から ③午後4時から 各回30分	21 法テラス講座「高齢者とその家族のための生活安心講座」 講師 法テラス千葉・所属弁護士 午前10時から おはなし会 午後3時から	22 映画会 「夢追いかけて」 午後2時から スタンプ3倍Day!	23	24
25	26 休館日	27	28	29 	30 月末図書整理日	31
1 本と雑誌のリサイクルフェア 図書館で利用しなくなった図書・雑誌を無料配布します。 午前9時30分~午後3時 ※当日、入場整理券配布	2 休館日	3 古典の日 ギャラリートーク 「市原市が生まれたころ」 講師 田所 真 (中央図書館館長補佐) 1階展示架前にて ①午前10時30分 ②午後2時	4 おはなし会 おはなし会 スタンプカード 3倍Day! 午後3時から	5	6 スペシャルライブラリアン ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの選手がやって来る! 午後2時から	7 大人のためのおはなし会 午前10時30分から 映画会 「美女と野獣」 午後2時から

8 映画会
 「ロラックスおじさんの秘密の種」
 午後2時から

期間中の展示等 ※詳しくは、ポスター等をご覧ください。

- ・市原市の生まれたころ 1階展示架
- ・この本が未来を開く1冊に! 2階展示架
- ・あなたの1冊、わたしの1冊 1階中央通路
- ・読書感想画 1階中央カウンター前
- ・わたしが選ぶいちほら景観100選 1階中央カウンター前
- ・健康寿命のばす努力に未来あり 1階 セレクトコーナー

「図書館iらんど2015」映画会での上映作品が決定!

ご来館の皆さまにご協力いただき、得票数上位2作品を「図書館iらんど2015」期間中に上映するとして投票を7月30日~8月21日に実施しました。

投票の結果は右表のとおりです。

★上映スケジュール 両日とも午後2時から

11月7日(土)「美女と野獣」吹き替え

11月8日(日)「ロラックスおじさんの秘密の種」吹き替え

皆さまのご参加をお待ちしております。

	候補作品名	得票数
①	美女と野獣	58票
2	マグム・イン・ニューヨーク	18票
③	ロラックスおじさんの秘密の種	45票
4	オール・ユー・ニード・イズ・ラブ	19票
5	東京に来たばかり	23票
6	許されざる者	32票

中央図書館 夏の思い出

一日図書館員

夏休み恒例の「一日図書館員」に、今年もたくさんの小学生が参加してくれました。

最初に図書館の説明や、本の並び方などを勉強しました。ブックコートをかける実習では、難しいところもあったけれど、一生けん命に取り組みました。

次は、いよいよカウンターでのお仕事体験です。本の貸出や返却は、バーコードリーダーで一冊ずつ正確に読み取ります。間違えないようにドキドキしながらパソコンを扱いました



みんな、とても気持ちのいいあいさつができていましたよ。

他にも本を本棚に戻したり、「一日図書館員がおすすめする本」の選書と展示などいろいろな仕事を体験しました。

最後に、館長から修了証をもらって「一日図書館員」の体験が終了しました。

この体験を通じて、もっともっと図書館を好きになってくれるといいな。みんなおつかれさまでした！



この夏の来館者数

この夏、来館者が一番多かった日は・・・？
いつもたくさんの方が、この中央図書館を利用しています。

さて、8月9日はこの夏一番来館者が多く、その数なんと

2115人！

これからも、もっと多くの人に利用してもらえよう、頑張ります！

奉仕体験

夏休み期間、小学校や高校の先生、高校生や大学生が中央図書館にて、社会奉仕体験等を行いました。

社会奉仕体験等は職場の仕事を学ぶことで、今後のそれぞれの仕事や学校生活等に役立てることを目指しています。

中央図書館で体験された方々の感想は、「普段利用している時に見ている仕事だけではなく、図書館の多くの仕事の内容を学ぶことで新たな発見をし、今後役に立てていきます」と感想を述べていました。



子供向け映画会

夏休み期間中の日曜日開催し、合わせて144人の参加がありました。

「グーフィー」などの楽しい作品や、戦争をについて考える作品「凧になったお母さん」などを上映しました。

これからも、いろいろな作品を上映します。お楽しみに！



市原市美術会を創ったひと

～画帳を胸に列車に飛び乗った青年の生涯～

ごぞんじですか？古城江観こじょうこうかん（本名：古城三之助）さんのこと……

古城江観さんは、明治 24（1891）年、鹿児島県出水市（旧高尾野町）出身の日本画家です。はじめは、独学で絵の勉強をしていましたが、明治 44（1911）年に黒田清輝が郷里の鹿児島で展覧会を開催した折に、列車に飛び乗ってスケッチを見せに行きました。

当時東京美術学校（現在の東京芸術大学）洋画科教頭であった黒田清輝は、「絵描きになりたければ、東京へいらっしゃい」と声をかけています。苦学覚悟で上京した古城さんは、黒田清輝の紹介で、やはり当時東京美術学校の日本画科教頭だった福井江亭に師事、浅草児島町にあった天真塾（塾長福井江亭）で四條派の運筆から、日本画の基礎を学びました。その後は、京都へ移って帝国美術院展覧会審査員であった山元春拳に師事し、帝展での入選によって、画家としての第一歩を踏み出したのでした。

上京から 10 年後の大正 10（1921）年、帝国美術院展覧会で入選した「筏二題」が英国皇室の所蔵となっています。大正 12（1923）年からは、台湾を皮切に、11 年間の世界スケッチ旅行へでかけ、このあいだに、フランスよりオフィシエ・ダ・アカデミー勲章を受章しています。昭和 8（1933）年に帰国。4 年後には市原市菊間にある恩師福井江亭の別邸を譲り受けて画室（アトリエ）としました。市原と古城さんとの関わりは、ここから始まります。昭和 38（1963）年、市原郡の北部五町が合併して市原市が誕生すると、市内在住の芸術家たちとともに市原市美術会を創設。昭和 57（1982）年まで、初代会長として市内の美術文化の牽引役をつとめました。またこの間に、市原市文化団体連合会の会長にも就任して、市原の文化全般に大きな功績をあげました。豪快な薩摩男児で酒豪。曲がったことは大嫌いな性格でした。千葉県美術会の創設にも尽力しましたが、禍厄に巻きこまれ身を引いています。しかし、会そのものの発展を心の中で秘かに見守り続けていたことが、晩年の自叙伝（未刊）に認められます。古城江観さんの画室は、今も菊間に残され、ご子息古城大陸こじょうだいろくさんによって守られています。

（記 たま）

ふるさと市原に輝く人物コーナー第 2 弾「古城江観」展

7 月に開設されたふるさと市原に輝く人物コーナー第 2 弾は、第 1 弾の川路柳虹かわじりゅうこうさんとも親交があった古城江観こじょうこうかんさんを取り上げます。

古城江観さんの著作『南を描く』（大雅堂 1943）をはじめ、「日蓮聖人聖跡八景」（絵はがき）やご本人が使用していた筆や落款などの画材、アルバム、従軍画家の腕章、写真、自叙伝（未刊）の直筆原稿、世界をとともに旅したトランクなどご子息の古城大陸さんからお借りした貴重なものが並びます。

また、画室のある菊間の土地でガーデニング・スタジオ「ルネッサン荘」を営む古城大陸さん関連の資料も展示しています。

展示期間 8月29日（土）～10月29日（木）

主な展示資料

- 図書『画家と戦争』平凡社（別冊太陽）：古城江観〈紐育制圧図〉
- 「市美術会開設の経緯」等直筆原稿
- 古城江観新聞掲載記事・広報いちほら掲載記事
- 菊間中校章（古城江観デザイン）





～レファレンスカウンター編～

中央図書館 1 階の第 2 フロア入口付近にある、レファレンスカウンターでは、皆さんが調べている様々な事柄に対して、解決の糸口になるような資料や情報のご案内をしています。



図書館の資料で

貸し出しできる資料、調べもののための資料、データベース等を使って、調べている事柄について参考になる資料を探すお手伝いをします。



市外の図書館から本を借りて

調べている事柄の参考になる資料が、市内の図書館・図書室にない場合や、希望の資料が市内で所蔵していない場合は、市外の図書館から本を借りることができないか調べます。



情報端末コーナーで

自分で調べたい場合に使うことができる、インターネットにアクセスできる端末があります。(中学生以上の方で図書利用カードをお持ちの方が利用できます。) * 利用方法の詳細はカウンターまで



データベース等を活用して

新聞記事や、法律情報のデータベースを利用して、調べ物をすることができます。

* 情報端末コーナーにて

ふるさと市原に輝く人物コーナー

郷土・行政資料コーナーに設置しているコーナーです。

「市原にゆかりのある人物のこと」や、「ふるさと市原のこと」を知り、市原をより身近に感じることができるよう、展示をしています。



郷土資料の寄贈について

郷土資料は一般に流通するものが少ないため、収集が難しい資料です。当館へご寄贈いただける郷土資料がありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

郷土・行政資料コーナー

市原市及び、市原市に隣接する地域に関連する資料や、市原市出身、または在住・住んでいたことのある方々の資料を収集し、提供しています。

市原市のことについて、調べたいときに、ご利用ください。



館内で利用できる資料

- マイクロフィルム
* 古い新聞の紙面を収めたフィルム
- 地形図・迅速図
- 市原市や県の施設の広報誌等



《中央図書館利用案内》



★開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
※水・金曜日は一般開架室のみ午後 7 時まで
ただし、祝日の場合は除く
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後 5 時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10 冊まで
視聴覚資料 2 点までいずれも 2 週間

★休館日 毎週月曜日
毎月平日最終日 (月末図書整理日)
特別整理期間 (蔵書点検等)
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)
★初めてカードを作るには
住所氏名の確認できるもの (運転免許証等) をお持ちください。